

区長紹介



幸田町は23の行政区からなり、それぞれの区では、住民の皆さんと町政を結ぶパイプ役として区長さんが活躍されています。今回、23人の区長さんに「区の自慢」を語っていただきました。
(人口・戸数は平成25年3月31日現在)



ながみね 長嶺区長

みやもと みちお
宮本 道夫 さん

【266人・73戸】

長嶺区は、町北部に位置し、緑と自然にあふれた住みよい区です。筆柿団地の高台からは相見駅が一望でき、この場所から見る夜景はとて素晴らしいです。

区は5月の農休みにグラウンド・ゴルフとバーベキューをフタバ産業株式会社と合同で行い、多くの区民とフタバの従業員の皆さまと一緒に1日楽しく過ごします。区と企業が調和した素晴らしい区です。



さかざき 坂崎区長

ひらいわ こういち
平岩 耕一 さん

【3104人・1068戸】

坂崎区は、町北部に位置し、京ヶ峯南面の自然豊かな、農工調和のとれた地域です。本町唯一の前方後円墳の青塚があり、室町のころには全国六十六ヶ国一寺一塔の安国寺が、三河の国ではこの坂崎の地に創建されています。

区内に名物や名所は多く、郷土の名著“坂崎郷土史”や“大碓の里”さくらの“彦左公園”もおらが町の自慢の一つです。



くほた 久保田区長

やまもと みちお
山本 倫雄 さん

【375人・112戸】

久保田区は、岡崎市境に山を抱える自然環境に恵まれた農村集落です。6月のホタル、善光寺願所40番でもある紫雲山西方寺の旧道に足を延ばせば8月には、沢沿いの田園に並ぶかかし、軒先に静かにどっしりと構える水車を見ることができ、昔をしのぶ癒やしのスポットです。

また、里山の背向かいには車部品・半導体製品工場もあり、多くの方が従事され、近辺の小高いところから見える夜景もおすすです。





こうりき
高力区長

しが あさお
志賀 朝雄 さん

【1336人・475戸】

高力区は、相見川の西にスポーツなどを楽しめる住民広場、北に田園地帯があり、自然豊かな地域です。JR相見駅周辺は、商業施設があり、住宅、高層マンションなどの建設が進み、今、目覚ましく発展して、区を取り巻く環境も大きく変化しています。

良き伝統・文化を守りつつ、新たに転入される皆さんとともに住み良い区を目指して頑張っています。



おおくさ
大草区長

おおた たかよし
太田 卓良 さん

【4545人・1556戸】

大草区は、ハッピーネス・ヒル・幸田が区の中心に位置し、国道248号の東側に豊かな自然に恵まれた山と田畑が広がり、西側には活気あふれる商店と多くの住宅が建ち並び、文化施設を中心に自然豊かな地域と活動的な地域との調和のとれた区です。

景勝豊かな大井池やボランティアの皆さんが育てた花々に彩られた美しい大草を大切に、諸先輩が築かれた良き伝統を引き継いで、より住み良い区を目指します。



しんでん
新田区長

しが ひとし
志賀 仁 さん

【180人・51戸】

新田区は、町の西部に位置し、広々とした美しい田園風景の中にあります。幸田町で一番小さい集落であり、町および地区の行事には区民全員参加で協力し合う結束力と底力がある、頼もしい自慢できる区です。

良い伝統・文化を守りつつ、新しい世帯とともに、住み良い区を目指して頑張っています。



わしだ
鷺田区長

つづき としお
都築 俊雄 さん

【4265人・1529戸】

鷺田区の西部に位置する相見地区では、JR相見駅が開業1周年を迎え、町内外の人々に広く利用されています。住宅や商業施設など、まだ計画・建設中のものもありますが、街並みも整ってきました。

従来の地域の伝統・文化を守り、調和をはかりつつ、安全・安心に暮らせる活力ある住みよい区を目指して努力していきます。





よこおち 横落 区長

すずき しげいち
鈴木 重一 さん

【2761人・967戸】

町の中央部に位置する横落区は、ゆっくり歩いても30分ほどで一周できます。中心に住民広場があり、いつもゲートボールや子ども会ソフトボールの練習風景が見られます。

今年の「こうた凧揚げまつり」では**愛知県知事賞を受賞**し、区民の感激もひとしおです。現在、岩堀区の大凧とともに、中央小学校の体育館に飾られ、子どもたちはお父さん、おじいちゃんが一生懸命に作った凧を見上げて、元気いっぱいです。



いわほり 岩堀 区長

しが まさよし
志賀 正義 さん

【5091人・1876戸】

岩堀区は、町の中央部に位置し、主な公共施設、商業施設があり、人口も一番多く、住環境の整った区です。**区内中央部で区画整理事業**の工事が、本年5月から本格的に開始されます。多くの課題も発生すると思いますが、組合と区の協業により解決していきます。今後、人口もさらに増加していきますが、区民とともに安心・安全なまちづくりを発展させていきます。



あしのや 芦谷 区長

まきの つぎお
牧野 次男 さん

【3656人・1489戸】

芦谷区の自慢は、区民の連携・協働による地域活動が活発なことです。その一つに「**芦谷区凧の会**」の活動があります。主力メンバーは年々増え、40歳代の若手を含め18人います。皆でひご組み、紙張り、絵付け、弓作り、糸付け、最後に秘伝の調整を行い、大凧6畳と8畳の2つを作り上げます。新春凧揚げまつりには、ひと際目を引く法被を纏い、21人の組長さんが凧を揚げます。新たに伝統を作り上げていこうという醸成がある区です。



おぎ 荻 区長

うちだ ゆきお
内田 由紀夫 さん

【902人・274戸】

荻区は、遠望峰山とぼうみやまの麓で、太古には周辺で荻という植物が群生し、荻の地名もそこからきています。万葉集に詠み人知らずの「葦辺なる 荻の葉さやぎ秋風の 吹き来るなへに 雁鳴き渡る」という歌があり、**荻稻荷神社に歌碑**があります。荻区で詠まれたものではないにしろ、風景はしのばれます。荻区は今ではイチゴ栽培が盛んで、また不動ヶ池親水公園・不動ヶ池園地も夏場は絶好の避暑地で憩いの場となります。皆さんぜひお越しください。





さくらざか
桜坂区長

にしもり たかし
西森 孝さん

【823人・221戸】

桜坂区は平成14年に発足し、今年で11年目を迎えます。昨年度は、今後発生が懸念される東海・東南海地震を想定した活動として避難訓練、炊き出し訓練が行われ、多くの区民が参加し、大地震に対する備えを高めることができました。

今後も、**地域の連携・交流**を深め、より良いまちづくりに努めます。



こうた
幸田区長

ほんま まさひろ
本間 正廣さん

【655人・244戸】

明治41年に東海道本線幸田駅が開業し、これにより駅周辺には店舗などが建ち並び、市街地が形成されて発展した地域が幸田区です。

現在は**駅前区画整理事業**が行われており、駅周辺は家屋の移転解体により空き地が目立ちます。この事業が早期に完成し、幸田町の玄関口である幸田駅を中心とした活気ある街並みがよみがえってくることを期待しています。



いちば
市場区長

いなよし けんじ
稲吉 賢二さん

【2493人・803戸】

市場区は、三ヶ根駅開設とともに発展し、土地区画整理事業が幸田町内で最初に施行され、その基盤もあり近年住宅が急増しています。初夏には、地元では天白川とも呼んでいる拾石川にホタルが舞う、自然に囲まれた地域です。

東海・東南海地震が予想される中、昭和20年に発生した三河地震によって出現した**深溝断層**の見学会が先日開催されました。今後、区としてもさらに防災意識を高め、地域コミュニティの連携を図る活動に取り組んでいきます。



さと
里区長

くろの かいち
黒野 嘉一さん

【2152人・801戸】

深溝運動公園は、ソフトボールグラウンドや憩いの広場が高台にあって眺めが良く、周辺には区民で整備されている「葵桜並木」や散策路の「つばきの小径」が、自然の息吹を感じさせてくれます。近くには深溝松平家墓所からの副葬品で一躍「歴史の郷」となったあじさい寺として知られる**本光寺**や郷土資料館もあり、歴史に触れることもできます。区内では土地区画整理事業が始まるなど、活力ある住み良いまちづくりを目指しています。





さかさがわ 逆川区長

いなよし いちろう
稲吉 一郎 さん

【215人・61戸】

逆川区は、町の南西部に位置し、西尾市吉良町に隣接した緑豊かな山間の集落です。三ヶ根山から町道とほぼ平行して拾石川が流れ、初夏にはホタルの乱舞が毎年感動を与えてくれます。

また県道41号（衣浦線）の法面には**葵桜**が約60本植えてあり、区全戸で草刈りを行い、今年も3月中旬に開花しました。小さな集落ですが、祭事やスポーツ行事には楽しんで参加しています。



うにや 海谷区長

うめむら いちろう
梅村 一郎 さん

【788人・272戸】

海谷区は、国道248号・東海道本線・拾石川が区を大きく2分するように通り、食事処やコンビニエンスストアも無い、閑静な地域です。しかし、桜やコスモス、スイセンなどを区民の皆さんが植栽し、今では季節毎に目をうるわせてくれます。

また、毎年行われる**お祭りや凧作り**などの催しにも積極的に参加していただき、区全体のコミュニケーション向上を図っています。



なかの 永野区長

おおすか かつお
大須賀 勝男 さん

【288人・80戸】

永野区は、町の北西部に位置し、春に咲く永野公園や遊歩道の桜は見事です。区内では、広田川の拡幅工事、それに伴う**橋の架け替え工事**など区を取り巻く環境整備が盛んに行われています。

区恒例のグラウンド・ゴルフ大会、こうた凧揚げまつりには区民総参加で絆を深めています。

昨年度からは3区合同（野場区・須美区）で青色回転灯パトロール車での地域巡回も活発に行われ、「安心・安全で絆の強い区」を目指し、みんなで頑張ります。



のぼ 野場区長

てしま まさる
手嶋 勝 さん

【2087人・663戸】

「水晶が山頂にある山には金塊がある」といわれ、その昔に金の試掘が行われた金穴や水晶山がある、夢とロマンにあふれた野場区です。金穴のある大日陰山には、**町営グラウンド・ゴルフ場**が整備され、多くの人々の熱戦が繰り広げられています。

また豊かな自然環境にも恵まれ、交通の便もよく、住みやすい地域です。さらに安心で安全な野場区になるよう、区民相互の絆が深まることを願っています。





むつぐり
六栗区長

たかはし あつし
高橋 厚さん

【1299人・445戸】

六栗区は、今後、町内においても大きく変貌・発展する有数の区だと思えます。JR幸田駅の西側に位置し、山あり、谷あり、畑あり、田ありと自然の調和した住み良い集落です。

今、区内9.2ヘクタールの**土地区画整理事業**が進行し、数年後には200戸以上の住宅が増える見込みであり、区の様相も大きく変わろうとしています。そんな環境の中でも連帯感、おもいやり、ふれあいを大切に、子どもからお年寄りまで、もっともって安全・安心で住みたくなる区を目指します。



す
み
須美区長

おかやす としひさ
岡安 平之さん

【421人・132戸】

須美区は、町の南西部に位置し、三方を山に囲まれた集落です。山には果樹、平地では天然水による米作りやナス栽培もされ調和のとれた区です。国道23号の開通により、工業団地もできて活気が出てきました。西パイロットに登れば遠く鈴鹿山脈まで見えます。そんな山での果樹栽培は素晴らしいです。**蘇美天神社**は歴史も古く、屋根瓦は葵の御紋が入っています。30年に1回の祭りもあります。また近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



きりやま
桐山区長

かもした しゅうじ
鴨下 修次さん

【380人・100戸】

桐山区は、町の南西部、広田川の源流域に位置しています。国道23号の開通により、各地への交通の便も良くなりました。春にはタケノコに始まり、ナシや筆柿などの農業も盛んです。桜やナシの花が咲くころは、町外からも多くの花見客が訪れ、当区でも**花見会**をします。

三方を山に囲まれた地区ですが、さらに安心・安全で住みやすい地域を目指しています。



かみむつぐり
上六栗区長

ふるいち けい
古市 敬さん

【652人・228戸】

上六栗区は、魅力あるまちづくりを推進するため今年の4月から「豊坂南部町づくり研究会」が発足されました。当区だけでなく、近隣区（六栗・桐山）との連携のもと、まちづくりをしようとするもので、具体的には**企業誘致、道路整備、福祉施設の誘致**などがあります。また、地権者への理解活動と町との連携を図り、啓発活動や調査研究、計画立案や開発計画の検討など、10年、20年後の夢のある当区のビジョンを描いていきたいと考えています。

